

KT師重賞本命と見解【G3愛知杯】

愛知杯

<最終見解>

中京芝 2000m は主場の芝 2000m とは少し適性がズレる条件。
他コースでは非根幹距離の芝 1800m、2200m 実績馬が走るのもそのため。
特殊条件でリピーターも走りやすいためです。

血統面ではナスルーラの持続力が活きるレース。
スタミナ寄りの血統馬が走りやすい傾向も。

昨年の 1、2 着馬もディーブ×シンボリクリスエス。
スタミナ寄りの配合。シンボリクリスエスはボールドルーラーの影響が強い種牡馬。
3 着ウラヌスチャームも非根幹距離巧者。スタミナ血統。

本命はマリアエレナ。

ヴァイスリージェント系とディーブインパクトの配合馬。
同じ組み合わせに昨年の金鯨賞も大穴で優勝し、
当コース重賞を複数勝利したギベオン。

昨年同コース重賞で馬券になった
ヨーホーレイク、ポタジエもディーブとヴァイスリージェント系の配合。

前走は芝 2200m の新潟牝馬 S を優勝。非根幹距離適性とスタミナの裏付けもある馬。

アンドヴァラナウトも同コース重賞を勝った
2 走前に本命にしたように中京芝 2000m 向きの血統。

ソフトフルートも中京芝 2000m で 3 勝。

残る 1 勝は非根幹距離の芝 2200m

マリアエレナ、アンドヴァラナウト、ソフトフルートは
ディープとキングマンボを両方持つ馬。